

# 文理選択・科目選択 応援BOOK

広島

県立 大門高校

## 『文理選択・科目選択応援BOOK』 を使ったワークシートに取り組み 納得度の高い文理選択の一助とする

### スクールデータ

生徒数 / 909人  
 (男子431人・女子478人)  
 普通科23学級(内理数コース3学級)  
 進路状況(2011年度) /  
 大学・短大進学81.3%、  
 専攻進学10.2%、  
 就職1.7%、その他6.8%

広島県福山市幕山台3-1-1  
 電話 / 084-947-7363  
<http://www.daimon-h.hiroshima-c.ed.jp/>

## リクルートサービスを活用した指導実践例

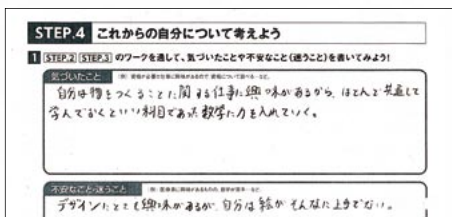
### ■ 文理選択までの流れ

- 1学期
  - ・興味のある学問調べ
  - ・広島大学の学部・学科調べ
  - ・広島大学のオープンキャンパスで学びたいことを事前学習
- 夏休み
  - ・広島大学のオープンキャンパスへの参加と報告レポート
  - ・『文理選択・科目選択応援BOOK』を読みワークシートに取り組んで提出
  - ・「じぶん未来BOOK」を読みワークシートに取り組み(任意)
- 9月
  - 文理選択志望を提出
- 9~11月
  - 担任による個別面談2回
- 11月
  - 文理選択を最終決定

入学後わずか半年で決める文理選択に向けて、1学年の1学期と夏休みは集中的に進路学習を行う。「総合的な学習の時間」の予定はごっちり詰め込まれていて新しい企画を入れにくい状況です。今回の『文理選択・科目選択応援BOOK』とワークシートは夏休みの宿題にできたので、比較的導入しやすかったです(山本先生)

### ■ 「文理・科目選択をじっくり考えよう!」 ワークシートの記入例

ダウンロード可



この生徒は気づいたこととして「物を作ることに興味があるから、ほとんど共通して学んでおきたい科目である数学に力を入れる」と書いた。「将来やりたいことのために、今必要な科目は何かに気づいたことは大きな成果。その後の勉強に前向きに取り組み意欲につながったことを期待しています」と山本先生。



進路指導主事  
 在間稔先生(左)  
 進路指導部・1学年副担任  
 山本麻里先生(右)

「集団の中でなくてはならない人になるために、何事にも受け身にならず積極的に行動してほしいです(在間先生)。「つい世話を焼いてしまいますが、教員が何も言わなくても主体的に動く力をつけることが目標です(山本先生)。

広島県立大門高校は、8割の生徒が大学進学を目指す進学校。進路指導主事の在間稔先生は「将来の働き方や生き方を考えることは、学力を高めることと同じくらい大切だと考え、「総合的な学習の時間」はすべてキャリア教育や進路学習にあてています」といふ。

内容としては、1学年は学部・学科研究、2学年は10月の東京方面への研修旅行を軸にした大学・職業研究がメイン。3学年は興味のあるテーマを論文にまとめて発表する。

### 学問と仕事の両面から 考えられる構成を評価

1学年の1学期には適職・適学診断「R・CAP」や学問研究を行う。夏休みには広島大学のオープンキャンパスに全員が参加し、志望する学部ごとにわかれて見学をし、見学内容をまとめる。

「これをもとに9月にいったん文理選択の結論を出すのですが、例年、教科の得意不得意で安易に選んだり、どうしたらいいかわからないと悩む生徒がいます。そこで今年度は夏休みに『文理選択・科目選択応援BOOK』を読み、

ワークシートに取り組んで提出する、という宿題を出しました」と語る進路指導部の山本麻里先生。

「文理・科目選択をじっくり考えよう」というワークシートは、全部で4ステップ。ステップ1で簡単な「適学・適職診断」を行い、これを参考にしながら、ステップ2で「78学問リスト」の中から興味のある学問を書きだし、ステップ3で「仕事紹介534」の中から興味のある仕事を書きだす。ステップ4ではステップ3までの作業を通して気付いたこと、不安なこと、今後学習面で力をいれたいことなどを書く。

「学問と仕事の両面から文理選択を考えられる構成が良かったです」と山本先生。在間先生も「コンパクトに取り組みやすかったと思います」と評価する。担任からも「よく書けている生徒が多かった」などの声が聞かれた。

### ワークシートに書かれた 不安や気づきは面談でフォロー

生徒の提出した記入内容を見ると、まとめたステップ4には「教師志望だったが、ほかにも楽しそうな職業が多くあることがわかった」「デザイナー

### 理系志望でも学力が 伴わない生徒の指導に悩む

ところで最近、同校では文系学部より理系学部が就職に有利と考え、理系を志望する生徒が増えている。しかし、現実問題として数学や物理の学力がまったく伴わない場合、思い直すように指導することもあるのだという。

「今は確かに理系が人気ですが、変化が激しい時代ですから、2、3年先にどうなるかわかりません。目先の変化に惑わされず、政治や経済にもっと興味をもって、将来を意欲的に考えてほしいと思います」と在間先生。